

栗山川サケ放流事業

町では12年度もサケ放流事業を実施しました。その内容を観光さんが小学生にわかりやすく説明しています。ぜひ読んでください。

登場

人物



小川 益美ちゃん

犬の散歩を欠かさない女の子。最近ピアノを習い始めた。



小林 幸男くん

この春から野球を始めた男の子。球ひろいに燃えている。

幸男くん 今日は、よろしくお願ひします。

益美ちゃん こんにちは。

観光さん 幸男くん、益美ちゃん、こんにちわ。町で行っているサケの放流のことで、知りたいことがあると聞いてきたんだけど。

益美ちゃん 今年の1月から白浜小学校の玄関に置いてある水槽で、サケを卵から子供に育てて、3月にその子供を栗山川に放流したんですって？

幸男くん ボクもそのことは聞いたよ。サケを放流してどうなの？

観光さん 2人が言うように、白浜小で育てた分を含めて、栗山川へ3月中に稚魚を14万8千尾放流したんだ。

幸男くん すごい数字だ。(とてもボクには数えられないや。)

観光さん 本当だね。サケの放流は、千葉県にご協力をいただきながら、光町と横芝町の共同で行っているけど、栗山川に帰ってくるサケを捕まえて卵をとったり、卵から稚魚に育てたりするのは難しいから、実際の仕事は栗

栗山川漁業協同組合の皆さんにお願いしているんだよ。

益美ちゃん えっ、栗山川にサケが海から帰ってくるの？

観光さん そうなんだ。稚魚を放流してから、4年位かかって栗山川に帰ってくるんだ。

幸男くん …。(ボクは、デイズニードでも迷子になっちゃうのにな。)

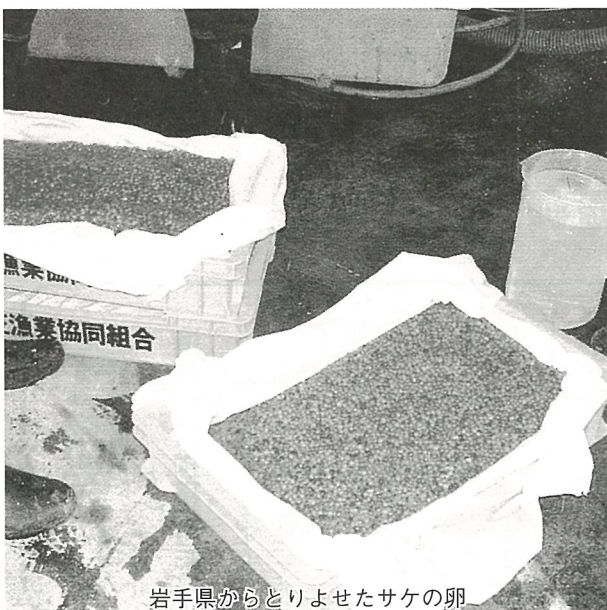
益美ちゃん どれくらい帰ってくるの？

観光さん 去年は403尾帰ってきた。例年に比べて少なかったけど、福島県より南の太平洋側は、一昨年に比べると帰ってきたサケの数はかなり減ったようだ。海水の温度が高かったことに原因があるらしいよ。

益美ちゃん あまり、帰ってこないのね。なのに、どうして町ではサケの放流に力を入れているの？

観光さん 実は栗山川でのサケの放流は、昭和51年度に千葉県が始めたんだ。それを平成11年度から光町・横芝町が引き継いでいるんだ。

幸男くん ずいぶん前から



岩手県からとりよせたサケの卵

サケの卵は、水温10度位じゃないと、うまく育たないのね。きつと寒い北の海からやってくるからかな。
私が泳ぐには、寒すぎる温度だわ。

